



- ★ 独立を志す方
- ★ リピート率を高めたい方
- ★ 企業内診断士とプロコンの二足のわらじを履きたい方

稼げる! プロコン育成塾

17期 第7回講義レポート

稼げる! プロコン育成塾 17期 第7回の内容について、以下に報告いたします。

■実施要領

開催日時	2018年1月20日(土) 10:00~17:30	
開催場所	都内公共施設 診断先事業者様(都内某所)	
開催内容	診断実習の進め方	講師:清瀬 和彦(11期生)
	飲食店診断のポイント	講師:小林隆(15期生)
	診断先事業者様へのヒアリング	講師:清瀬、小林 アドバイザー:塚本洋美、姫田光太、大石泰弘(16期生)

■講義レポート

(1) 講義 診断実習の進め方(清瀬和彦 講師)・飲食店診断のポイント(小林隆 講師)

第7回目の診断実習では、基本スキルのひとつ「診る」を学びます。今年の診断先は飲食店。午前中は、診断実習の進め方に加えて、飲食店の診断実習におけるポイントを網羅した講義で基本をインプット。

清瀬講師の講義では、診断実習を行うにあたって、気をつけるべき点について、特にコンサルタントとしてのマインドや、診断実務での考え方を学びました。また、診断先での限られたヒアリング時間のなかで、効果的にヒアリングを進めるため、質問の際に留意することや診断要領、ヒアリング後の報告書の作成要領や留意点について学びました。



写真. 診断実習の心構えを学ぶ17期生



写真. 清瀬講師による診断実習講義

続いて、小林講師の講義では、飲食店の昨今のトレンドを踏まえた「飲食店診断のポイント」を学びました。業界のトレンドから商売の基本原則、提言時の留意点まで幅広く知識を体系的に学びました。



写真. 小林講師のトレンドを踏まえた講義



写真. 熱心に講義に聞き入る 17 期生

(2) ヒアリング準備・役割分担決め

診断実習では、塾生 15 名が 4 つのグループに分かれてヒアリングを行います。塾生はこの診断実習のためにグループごとに質問項目を列挙しまとめてきました。この質問項目について、どのような仮説を立てた質問か、質問の優先順位、診断先から引き出す質問の仕方など、ヒアリングを効果的に進めるための最終調整を午後の時間に行いました。



写真. グループヒアリングの最終調整を入念に行う 17 期生



写真. 17 期生全体での意識合わせ（グループごとの最終調整結果を発表）

各グループには講師や稼プロ！OB の事務局も加わり、短い時間ながら、グループごとにしっかりと意識合わせができました。最後に、各グループの誰がヒアリングをするか、ヒアリングの進め方、グループ内で話し合ったことを全体で共有して、準備が整いました！診断実習の講義やグループ内での意識合わせが完了し、いよいよ実践です。ヒアリング先に向かいます！

(3) ヒアリング

塾生は区民館を後にし、診断先事業者様の現地に向かいました。今までの取り組んできたヒアリング準備や午前中に講義で学んだことを診断実習で早速活かします。

診断先事業者様の経営者へのヒアリングでは、質問をする人や記録する担当者に分かれ、各班で順番に行いました。経営者に分かりやすく伝えることや、限られたヒアリング時間の中で、経営課題を整理すべくヒアリングをしていきました。より良い診断報告書を書くためには、あらかじめ想定した仮説や質問で得られた経営者からの一言一句は貴重な情報であり、聞き逃すことはできません。他のグループの質問に対する回答もしっかり確認しながら、ヒアリングを行ないました。

(4) ヒアリング修了後の今後のアクション

本日の診断実習が終わったあとは、診断先事業者様のお店をお借りして、塾生、講師、事務局で懇親会を行いました。診断先の美味しい料理に舌鼓を打ちながら、和気あいあいと塾生・講師・事務局が一緒になって、とても楽しいひとときを過ごしました。

次回、第8回講義は、2月24日（土）の開催です。本日ヒアリングしてきた内容を各人が報告書にまとめてくることになっています。約1カ月の限られた期間ですが、17期生がどのような診断報告書を作成するのか、少しでも診断先事業者様にお役に立てられるよう、塾生1人ひとりの診断報告書に期待は高まります！なお、今回の診断実務実習を通じて、所定の実務ポイントが付与されますので、17期生の皆さんには改めてお知らせします。

（事務局：水口 淳一郎）